

秋田歴研協会誌

第84号

秋田県歴史研究者・研究団体協議会

2025. 3



榊田清兵衛(左)と酒田市にある「榊田清兵衛翁碑」(右) 榊田清兵衛は元治元年(1864)年、大曲の豪農榊田家の長男として生まれた。郡会議員、県会議員を経て明治41(1908)年の総選挙で衆議院議員に初当選すると請願委員長に抜擢され、のちに政友会で原敬の右腕と謳われるまでになる。原没後は床次竹二郎と政治行動を共にし、政友本党、立憲民政党などを結成した。中央政界で重きをすだけでなく、秋田における政治的影響力も絶大なものがあった。その顕彰碑が出身地でもない酒田市にあるのは奇異に思えるが(当然、大仙市にも存在)、これは庄内平野を流れる赤川の治水工事に尽力した功績を称えたもので、政治家としての器の大きさが窺える。

特	集	秋田歴研協 秋の発表会	
		近代秋田の政争	伊藤 寛崇 (2)
用	語	村にある鉄砲(威し鉄砲、用心鉄砲他)	半田 和彦 (21)
解	説		
歴	史	鯨面文身	蛭名萬知子 (23)
情	報	新刊紹介 佐藤晃之輔『源頼朝に挑んだ秋田人 大河兼任』	編集部 (25)
		中央図書館明德館古文書研究会	
		『那波家蔵文書 酒造方日記・明和六年～同九年』	編集部 (26)
歴	史	情 報	(27)
事	務	局だより	(29)